

## 問 広域避難計画の公表時期は

答 年内を目標として進めたい



新政とうかい  
とびた しずゆき 議員  
飛田 静幸

問 他地域では避難者の混乱を軽減し、円滑な避難所収容のために「避難経由所」というものを設けているが対応について伺う。

答 避難の際に目指すべき施設を「ターミナル」として位置づけ、順次開設した避難所へ案内するもので、他地域でも採用されている。

問 ターミナル方式は、極めて有効かつ現実的な手法と考える。広域避難計画は、不断の見直しを行いながら、実効性を高めていくことが重要と考えるが見解を伺う。

答 計画は、修正・見

直しを重ねながら、その実効性を高めていくべきものと考えている。

問 現状の村の計画案は、避難所一人あたりの面積が2平方メートルという条件では、すでに公表に値する内容である。こうした点も踏まえ、公表時期を具体的に示すべき。

答 発電炉だけでなく試験研究炉等が立地するため、発電施設ごとの初動の違いを住民に明示すべきで、早期に公表したいと考えており年内を一つの目標として進めたい。



東海村広域避難計画ガイドブック

## 委員会レポート

# 親しみやすい「議会だより」を目指して

議会報編集委員会では、議会における審議や村政の課題を分かりやすく住民の皆さんに伝えて、知っていただくための紙面づくりに努めています。

研修への参加を通じて編集技術の向上を図るため、去る8月24日に町村議会広報クリニックを受講して、編集の手法を学ぶとともに本村議会だよりへのアドバイスをいただてきました。

これらの成果を踏まえて、議会報編集委員会では「読みやすい」、「分かりやすい」、「親しみの持てる」議会だよりとなるようこれからも取り組んでまいります。



研修の様子